**職務経歴書**

●年●月●日 現在

氏名　いい求人　太郎

**［職務概要］**

大妻女子大学を卒業後、新卒で●●株式会社へ入社し営業アシスタントとして6年間勤めました。 主に営業とお客様とのコミュニケーションを大事にしながら効率よく業務をこなしてきました。 その後、新しく環境を変えるために採用人事アシスタントとして株式会社▲▲へ転職しました。 組織変更のため、入社２ヶ月後に人事異動となりそこから総務として1年半ほど勤めています。 総務では、今までと全く違う環境下だったため、 これまで培ってきたコミュニケーション力を生かしつつ、持ち前の吸収力で主体的に動くことを学びよりよい環境作りをしてきました。

**［職務経歴］**

■株式会社▲▲　2020年04月〜2021年08月

◇事業内容：プログラミングスクールの運営、人の育成　◇従業員数：○○人　◇上場区分：非上場

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 職務内容 |
| 2020年04月～2020年06月 | 【職務】：採用人事アシスタント【職務詳細】・スカウト対応 ・エージェントと応募者との対応◆工夫した点・各関係者とのコミュニケーションを密に取るようにしていました。入社して間もなく在宅勤務となり、またエージェントや応募者、社内の連携が不可欠なポジションであった為、様々なチャネルを用いて接点を増やす意識を持って取り組みました。 |
| 2020年06月～2021年08月 | 【職務】：総務【職務詳細】・請求書対応 ・環境整備・新規業者選定〜契約対応・入社者対応 ・各アカウントの管理 ・PC関連対応◆工夫した点・関係する部署のプロセスを把握するようにしていました。急遽仕事が発生することが多い環境であった為、準備が間に合わない事が多々ありました。そこで、他部署における進行状況の把握や、自身の状況共有を密に行い、今後発生する仕事を予測するようにしました。この取り組みにより、事前にアドバイスを貰うこともでき、スムーズな業務遂行および事故の防止に繋がりました。また、コミュニケーションの頻度も多くなり、関係性の良化に貢献したと考えています。 |

■●●株式会社 2014年04月〜2020年03月

◇事業内容：熱エネルギー機器の販売、開発　　　◇従業員数：○○人　　◇上場区分：上場

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 職務内容 |
| 2014年04月〜2020年03月 | 【職務】：営業事務【職務詳細】・メール、電話対応・請求書対応・接客対応・カスタマー対応 ・見積もり作成、代替機種選定・在庫確認、出荷対応・後輩育成・修理依頼、売上対応◆工夫した点・顧客対応に際して、お客様の困りごとやニーズを把握することを大切にしました。自身の仕事を進めようとすると、お客様との間に利害が発生するケースが多々あり、板挟みになることも少なくありませんでした。その中で、まずはお客様を理解し、信頼を得ることが最短の道だと考え、何度もコミュニケーションを重ねるようにしました。この取り組みにより、多くの案件をスムーズに進めることができ、お客様からも「貴方がいるから取引をしている」と言って頂けるようになりました。 |

**■スキル**

・コミュニケーション力 ・タスク管理能力 ・吸収力 ・自分目線ではなく他人目線で考えることができる ・チームワーク力

**■自己PR**

**持ち前のコミュニケーション力でチームワークを大切にします**

私は新人の頃から営業と顧客からの電話対応を行っておりました。その中で「忙しくても電話はワンコール以内で出る」を目標に常に実施しておりました。 その結果、自分の担当以外のお客様からも名前を覚えて頂いたり、営業や顧客から対応が良いといってもらえたり、社内外問わず良好な関係を築くことができました。ここで培ってきた経験を活かして環境が全く異なるベンチャー企業でも、自ら他部署とも積極的にコミュニケーションを取ることで、スムーズに仕事ができる環境を作ることができました。前職とは違い、在宅勤務やチャットが主な会社なため、社内連携が少ないと感じていました。そこで私は、特に細かな社内連携を大事にして実践することで周りも連携をしてくれるようになり、以前よりチームワークが強くなりました。職場の人間関係をより良くすることで、仕事の幅も広がりより良い職場環境作りに貢献できたと思います。

**柔軟な吸収力で仕事をこなします**

大企業からベンチャーの転職で異なる環境下でも、新しい仕事に対して全て一から吸収して柔軟に仕事に取り入れながら動くことができます。実際、会社に後納郵便を一から導入した結果、毎月最もサプライズな仕事をした人に送られるサプライズ賞を受賞することができました。そのとき上司に、「常に仕事の指摘に対して嫌な顔をせず、真摯に受け止め少しずつ仕事に取り入れていくことは社会人誰しもが出来ることではない」と言われました。このとき自分自身では気づかなかった強みに気づくことができました。このことから私はどんな環境下でも、疑問をそのままにせず自分が納得するまで処理して、様々なことを吸収し取り入れながら仕事をこなすことができると思っています。

以上